



2020年5月

ご提案

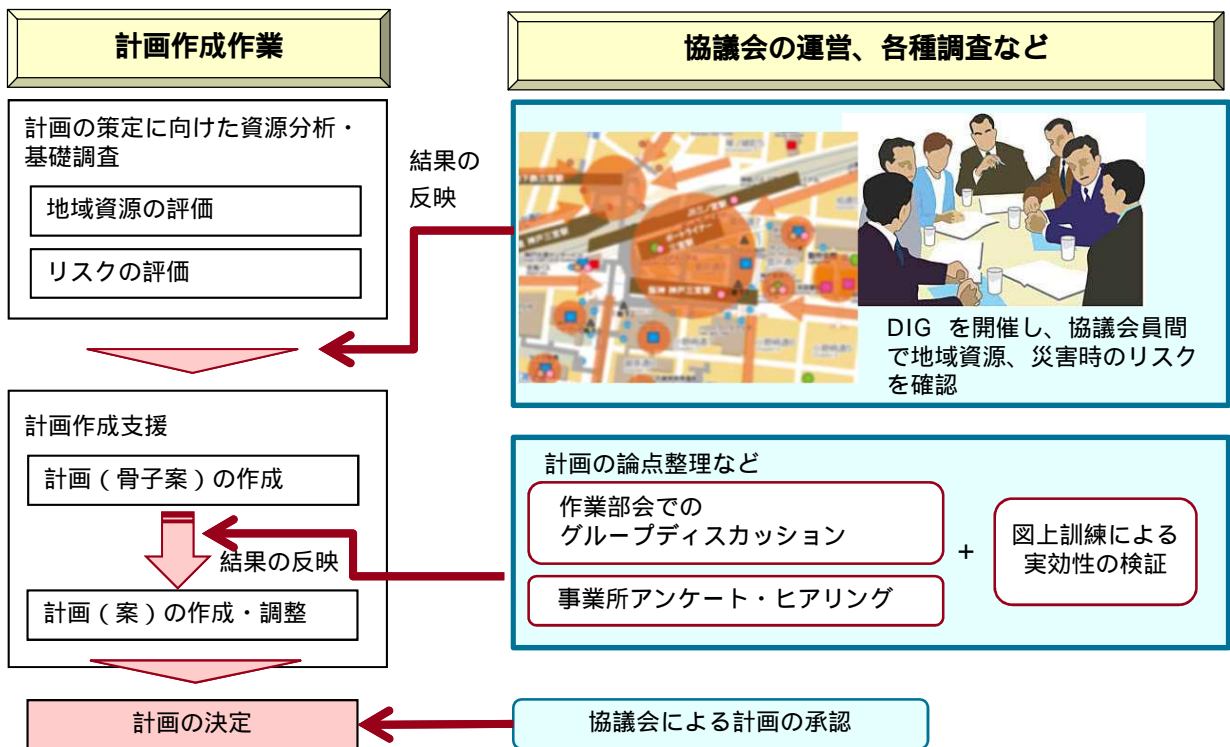
帰宅困難者対策でお困りの点はありませんか？課題が多岐にわたる帰宅困難者対策は、国のガイドラインにおいて行政、関係機関、民間事業者等が参画した協議会形式の対応の重要性を強調しています。弊社の帰宅困難者協議会の計画づくり支援や一時滞在施設の実働訓練の支援を、ぜひご活用ください。



帰宅困難者協議会の計画づくりを支援（例：政令指定都市 A市）

帰宅困難者協議会において、協議会運営支援（作業部会や図上訓練の開催など）、事業所アンケート・ヒアリング及び現地調査を行い、地域にあった計画作成を支援しました。

< 計画策定までの流れ >



弊社では、地域の実情に合った計画づくりのため、外部の視点からのご提案とともに、ワークショップやヒアリングを通じて関係者のみなさまの意見を反映するなど、オーダーメイドな対応を行っています。

DIG：Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の略。参加者が地図を囲み書き込みを加えながら議論する演習

一時滞在施設の実働訓練支援（例：東京都 B区）

帰宅困難者協議会の運營業務だけでなく、実働訓練の支援も行っています。民間一時滞在施設で活用する汎用型のマニュアルを整備し、一時滞在施設の帰宅困難者受入訓練を支援します。

< 一時滞在施設での帰宅困難者受入訓練項目例 >

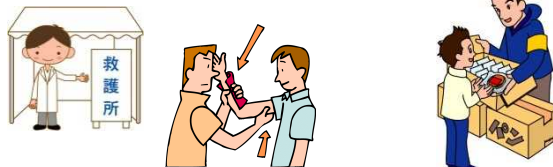
1. 要員参集・施設の点検

運営要員が集まり、ミーティング、施設の点検、備蓄の確認などを行います。
一時滞在施設は、ボランティアの方や近隣事業者の協力を得て運営することもあります。簡易的なマニュアルやチェックリストで、協力者と役割分担を行います。



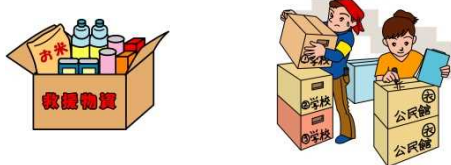
3. 施設の運営

受入スペースでは、帰宅困難者に対し食料の配布や情報の提供を行います。施設管理者に負担がかからないよう、帰宅困難者と協力した運営や、適切な掲示・案内を行うことがポイントです。
けが人がいた場合などは、救護スペースを案内するなど、適切な誘導を行います。



2. 帰宅困難者の受入

受入スペースの設営、資器材の準備を行い、帰宅困難者を受け入れます。
帰宅困難者の受付では、「入館証」の配布や「受入条件」の確認を行い、施設へ案内します。



4. 評価・振り返り

評価項目に基づく訓練の評価及び主要場面に焦点を当てた振り返りを行います。
必要な対策や改善点を提案します。

訓練前の基礎研修等

国のガイドラインの内容や帰宅困難者対策の事例等基礎的な研修を行います。



< 新型コロナウイルス感染症対策 >

令和2年5月の防災基本計画修正では、避難所における新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策について定められました。弊社では一時滞在施設における3密防止対策等の注意事項等、感染症対策も含めた計画づくりをご提案します。

発災時の想定（シナリオ作り）や、訓練フロー、一時滞在施設運営マニュアルの作成等、役立つツールの作成を支援します。

また、さまざまなタイプの一時滞在施設（テナント施設・地下道など）に適した訓練など、参加者や場面設定に応じた訓練をご提案します。どうぞご相談ください。



SOMPOリスクマネジメント株式会社

BCMコンサルティング部 社会公共グループ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1 24 1

ご相談は下記フォームよりお願い致します。お気軽にお問い合わせ下さい。
<https://www.sompo-rc.co.jp/contact/form/>